



## 熊谷市文化功労者

しまのちよく  
島野直 (76歳)

熊谷市宮前町

氏は、昭和58年熊谷市水泳連盟理事長に就任し、小学生を対象にした初心者水泳教室の開設や、小学生から一般、高齢者まで参加できる大会として、本年で第30回を迎えた「市民水泳大会」を創設する等、長年にわたり水泳の普及に尽力しました。

また、参加者1万人規模の本市一大スポーツイベント「熊谷さくらマラソン大会」では、実行委員会会長として大会の成長に大きく貢献しました。

第59回彩の国まごころ国体では、熊谷スポーツ文化公園の拡充整備等に尽力し、また開催・運営計画の策定等、招致の段階から積極的に取り組み、メイン会場として国体の成功に大きく貢献しました。

さらに、昭和62年熊谷市ゴルフ連盟設立に尽力し、副会長として、各種ゴルフ教室等を通じ、ゴルフの普及発展に貢献し、市民の心身の健全な発達に大きく貢献しました。

このように、卓越した情熱と統率力により本市の体育の振興・向上に寄与した功績は、誠に顕著であります。

## 熊谷市文化功労者

し みず しん じ  
清 水 信 二 (77歳)

熊谷市久保島

氏は、昭和35年に埼玉大学を卒業後、中条中学校教諭となり、以後、美術教諭として生徒指導にあたり、その後、小中学校長を歴任する他、埼玉県美術教育連盟副会長を務めるなど、学校における美術教育に尽力しました。

一方、自ら創作活動を行う傍ら、熊谷市美術展においては、昭和41年の第1回展から運営と審査に携わり、現在の公募熊谷市美術展の基礎を築き、その充実と発展に努めました。

熊谷市文化連合副理事長、熊谷市美術家協会会長など数々の要職を務め、本市の文化及び美術の振興に貢献しました。

さらに、直実市民大学、熊谷図書館、公民館等において、美術に関する講話や実技講座を行うとともに、油彩画等の指導を行い、公募熊谷市美術展や熊谷市勤労者文化展への出品者の増加等、本市の美術人口の拡大に貢献しました。

このように、本市の文化の振興・充実に大きく貢献した功績は、誠に顕著であります。

## 熊谷市文化功労者

の むら よし てる  
野 村 好 輝 (78歳)

熊谷市妻沼小島

氏は、長年にわたり菊作りを行い、平成18年に妻沼地区菊花会会長に就任し、本市における菊作りの普及・振興に精力的に活動しています。

平成14年には妻沼町社会教育委員に就任し、地域の社会教育の充実、発展に貢献しました。

また、小学校や公民館等で菊作りの指導を行い、菊作りの普及・発展に尽力しました。

熊谷スポーツ文化公園がメイン会場となった平成16年の第59回彩の国まごころ国体では、天皇陛下、皇太子殿下のロイヤルボックス席の菊飾りを担当し、会場に彩りを添えました。

さらに、日本菊花全国大会へ出品し、内閣総理大臣賞を4度受賞する等活躍し、平成23年には1本の菊に咲く花の数、4351輪でギネス世界記録に認定されました。

このように、精力的活動と情熱により、本市における菊作りの普及・振興に寄与した功績は誠に顕著であります。